

太陽への手紙

～ これからの浦幌に望むこと～

「太陽への手紙」事業は町内の小学校6年生を対象に、まちづくりへの関心や理解を深める目的で実施しています。今年は3校から全33作品の応募があり、それぞれ夢のある視点で、将来の浦幌町に対する意見や提案を作文にいただきました。

今年も町長が各小学校を訪問し、いただいた作文を基に直接、子どもたちと懇談させていただきました。

懇談会では、身近なものから、大きな規模のものまで様々なご意見、ご感想が寄せられました。共通しているのは、子どもたちのまちに対する深い思い。自然や環境を守りながら、活気ある町にしていくための多くのアイデアをいただきましたので、今後のまちづくりに活かしていきたいと思えます。

ご協力いただきました6年生のみなさん、各学校の教職員のみなさん、保護者のみなさん、本当にありがとうございました。

～ 子供たちの作文は作品集にして、各小学校と町立図書館に配布します。～

厚内小学校 (11月6日実施)



厚内小を代表して、町長に質問します！



給食も食べ終わり、懇談のスタートです。



今年もみなさんと一緒に給食を食べました。



最後に児童の皆さんが作った野菜をプレゼントしていただきました！



教育長から、講評をいただきました。



他の児童からもたくさんの質問が出ました。

浦幌小学校 (11月29日実施)



挨拶を兼ね、児童たちの作文への感想を述べる町長。



町長の話しを真剣に聞く児童たち。



班で相談して、たくさん意見を出してもらいました。浦小6年生のみなさん、ご協力ありがとうございました。

上浦幌中央小学校 (11月30日実施)



答弁を聞いて、再質問！



今年もミニ議会形式で開催しました。(子ども議員のみなさん、ちょっと緊張気味です。)



5・6年生と一緒に給食を食べました！



最後に、上浦幌中央小児童が出演する『上浦幌の良い所』を紹介したVTRを上映。



答弁願います。



一人ずつ質問をしています。(トップバッターご苦労様です！)